

産廃処分場計画の中止を 「最善の計画」と言ってきたことと矛盾

淀江町小波に計画されている産業廃棄物最終処分場。事業主体が従来の民間・環境プラント工業から、鳥取県の外郭団体である県環境管理事業センターに変更になりました。

伺っている。

際限なく膨らむ事業費

岡村 県は9月補正予算で3900万円を計上し、現在の事業計画とは別の案を作成するとしている。これまでの事業計画は「最善のもの」と住民に説明してきたのではないかと。市民環境部長 より安全性を高める方策として別案も検討し、現計画と比較検討したうえで、最良の事業計画を策定されると

岡村 一次報告でダメだと指摘された環境調査を5千万円の税金を使って環境プラント工業から事業センターに買い取らせ、その上に3900万円を再検討する。さらに事業費が膨らむことにつながる。市民環境部長 県環境管理事業センターに対する県の補助金については、県において厳格に審査されるものと考える。



議会傍聴記

議会も産廃問題に関心もって

9月議会一般質問の産廃処分場問題について議会傍聴しました。

環境管理事業センターは県から3900万円の補助金を受け、新たなコンサルに計画書を検討させるとしています。これまでセンターは、環境プラントと一体で計画を進めてきており、今さら何を見直すというのでしょうか。岡村議員は、これまでの事業計画書は不安だらけだったということが明らかにされた、と指摘されました。

また、処分場計画地は一般廃棄物の最終処分場とされている場所で、Ⅲ期計画地とされてきました。これが変更されたのかと岡村議員が追及し、角副市長は即答せず後日文書回答するとなりました。

地元住民は大山の豊かな自然と地下水を守るためにこの計画が持ち上がった以来、学習会や署名活動、県を相手に住民監査請求するなどとりくみを進めてきました。

市民の財産である市有地が計画地の半分を占めており、市議会としても無関心でおれないはず。市民全員で自然環境を守る立場にたち、県に迫っていたべきだと思います。
(淀江町西原、松本松子)

子どもの利益第一の保育に

保育士の加配はされているか
1歳児の保育士の配置は、国基準が6人の園児に対し1人の保育士であるのに対し、鳥取県では4・5人に1人の基準で保育士の配置改善にかかる経費を助成しています。
岡村 米子市福祉会の保育園ではこの基準を満たしていない。保育の質を向上させるための加配。市として指導すべき。
福祉保健部長 基準を満たしていない園が1園あり、市が権限をもって指導する立場ではないが、保育の実施者として改善していただくよう働きかける。

小規模保育に対する市の指導責任

今年4月から、0歳から2歳児まで受け入れる小規模保育A型の施設が市内に4園でき、鳥取の保育を考える会のメンバーと施設見学をしました。中には、新規参入した施設で園長以外は若く経験もそれほどないとといった保育士ばかり、といった施設も。

払える介護保険料・利用料に

「保険あって介護なし」の実態
介護保険が6期目に入り、将来サービスが受けられるだろうか、こういった不安を抱かせる実態が広がっています。その一方で、否応なく徴収される保険料はますます高くなり、非課税のお年寄りにまで保険料はかぶさってきています。
岡村 払える保険料に引き下

げてほしい、こうした声を国に届けるべき。せめて、米子市独自の保険料・利用料の減免を実施すべき。
福祉保健部長 市独自の保険料・利用料の減免を行う考えはない。
介護に一般会計からの繰り入れを
国に負担を求めると同時に、国保と同様、介護保険にも市の一般会計からの繰り入



れが必要。国保にできず、全員加入の介護に繰り入れができないという理屈は成り立たせません。岡村議員は、介護保険料の引き下げ、利用料の2割負担の撤回を求めました。

日本共産党 市議会報告

明るい米子

2015年10月
日本共産党米子市議団／発行
米子市加茂町1-1

この報告は、市議会政務活動費で発行しています。



岡村英治議員

お気軽に
相談を

仕事・
くらしの
悩み

日本共産党生活相談所
電話・Fax 32-5590
米子市富士見町136

岡村えいじ
電話 29-3475



<http://jcpy.sakura.ne.jp/o/>
ご意見をお寄せください。



マイナンバー制度 導入は撤回を

赤ちゃんからお年寄りまで、すべての国民に十二ケタの番号を割り振るマイナンバー制度。プライバシーの侵害やなりすまし被害、情報漏えい、多額な費用がかかる一方で国民にとってメリットがほとんどない…などさまざまな問題点が指摘され、また国が膨大な量の個人情報を一元的に管理するもので、導入すべきではありません。年金流出事故は、そうした問題点にたいする不安を国民の間に大きく広げました。

九月十三日の新聞報道にありましたが、全国の市区町村に共同通信がマイナンバー制度についてアンケート

トしたところ、「60・0%の自治体が安全対策に不安を感じている」と回答しています。

また、長く施設に入居する高齢者、DV（ドメスティックバイオレンス）や児童虐待の被害者など、簡易書留で送られる通知カードが、少なくとも全体の5%に当たる世帯に「受取人不在」などの理由で届かない可能性がある、とも報道されました。

制度導入で、従業員のマイナンバーを管理することが義務付けられる地元中小業者の負担が増大することも明らかになっています。

システム導入に初期投資だけでなく3千億円とも言われ、地方自治体にも多大な財政支出を強いる同制度です。

撤回を求めていきたいと思います。

□…議案・陳情に対する 党市議団の態度…

【議案「米子市手数料条例の一部を改正する条例の制定について」】

この条例改正は、マイナンバー制度に導入に伴う個人番号通知カード、及び個人番号カードが紛失や盗難に遭った場合に再交付する際の徴収する手数料について定めようとするものです。通知カードが1枚につき500円、個人番号カードが800円となっています。

同制度について私たち日本共産党は、プライバシーの侵害やなりすまし被害、情報漏えい、多額な費用がかかる割に国民にとってのメリットが少ないなどさまざまな問題点が指摘されるなかで、国が膨大な量の個人情報を一元的に管理する制度は導入すべきでないと考えています。

以上の理由から、制度導入を前提とした条例改正案に反対しました。

【陳情「産廃最終処分場関係自治会の動向に係る調査等を求める陳情」】

市議会の6月19日の一般質問で角副市長は答弁で、鳥取県環境管理事業センターに確認をしたといたうえでとして「平成20年に小波浜、小波上の両自治会が、環境プラントの計画に対して同意をされているとのことでした」と発言されました。

6月24日での産廃処分場建設に反対している住民団体である「大山ふもとの自然環境と米子の水を守る会」からの「平成20年当時の状況ではなくて、現在の状況を確認してもらいたい」旨の要請を受け、6月議会最終日の7月1日、「再度鳥取県環境管理事業センターに確認をいたしましたところ、現在は、産廃廃棄物最終処分場の事業に反対しないという決議をされている自治会があると回答を得たところでございます。なお、決議をされている自治会名は公表できないとのことございました」と発言されました。これでは、陳情者の地元である小波上が「平成20年に同意している」と

医療費助成

十八歳まで拡大

子どもの医療費助成（国保）は現在十五歳（中学卒業まで）となっていました。来年4月から十八歳になった年度末までに拡大されることになりました。

患者負担は従来通り、一日あたり入院が1千200円、通院が530円となっています。医療費の3割の自己負担分と患者負担分との差額を、鳥取県と市が2分の1ずつ負担します。拡大に伴う市負担増は約2千300万円。

一歩前進ですね！



いう答弁が打ち消されたことになっていません。

陳情者は小波上はこれまで同意した事実はなく、「事実と異なる発言は広く流布されたままであり、関係住民が被る迷惑はさらに増幅」していると陳情書に記載されています。

米子市は、市民の安全、環境を守るべき立場にあり、しかも産廃処分場計画地の約半分を市の土地が占め、市民の財産の使い道が問われる状況であるにもかかわらず、主体的にこの計画にかかわろうとせず、すべて鳥取県や環境管理事業センター任せに終始しています。

今後、米子市が県から意見照会を求められた場合、主体的判断が出来るよう、処分場が周辺環境にどのような影響をもたらすのかといった環境影響調査、また関係住民の意見がどうなっているのか拾い上げていく作業が米子市に求められると考えます。

米子市としてきちんとした事実に基づいた情報発信をすべきという立場から、同陳情の採択を主張しました。

議案、陳情に対する 各議員の態度

- ① 米子市手数料条例の一部を改正する条例の制定について
- ② 産廃最終処分場関係自治会の動向に係る調査等を求める陳情

○賛成 ×反対		①	②
共産党	岡村 英治	×	○
	岩崎 康朗	○	×
蒼生会	尾沢 三夫	○	×
	門脇 一男	○	×
	田村 謙介	○	×
	三嶋 秀文	○	×
	三穂野雅俊	○	×
	湯浅 敏雄	○	×
	渡辺 穰爾	議長	
信風	安達 卓是	○	×
	伊藤ひろえ	○	×
	稲田 清	○	×
	中田 利幸	○	×
公明党	村井 正	○	×
	今城 雅子	○	×
	前原 茂	○	×
希望	安田 篤	○	×
	矢田貝香織	○	×
	国頭 靖	○	○
改進黨	土光 均	○	○
	矢倉 強	○	○
	山川 智帆	○	○
コモンズ	遠藤 通	○	×
	岡田 啓介	○	×
	戸田 隆次	○	×
杉谷第士郎	○	×	